

2025年度 授業コード: 12106200

授業科目	児童英語教育研究				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	西原 真弓										
授業概要	<p>前期開講の「児童英語教育入門」で習得した小学校外国語活動・外国語科に関わる知識・技能を基盤として、この授業では、より実践的に学習を進めていく。具体的には、デジタル教科書を利用して教育内容を理解し、バックワードデザインによる授業づくり、また、児童に言語使用を通して学ばせるための言語活動の展開の仕方などに関する理解を深め、実際の指導に応用できるようになることを目的とする。授業後半の模擬授業では、授業者以外の学生たちによるフィードバックを通し、授業立案・実践の振り返りのための視点を身につけることができる。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニング（ディスカッション・プレゼンテーション） ・模擬授業とフィードバックによるディスカッション 						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における外国語活動・外国語科の意義を概ね説明できる。 ・小学校英語活動の目標の立て方が理解できる。 ・指導計画の作り方のポイントが理解できる。 ・クラスルームイングリッシュを活用できる。 ・学習指導案を作成し、模擬授業を実施することができる。 										
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における外国語活動・外国語科の意義が説明できる。 ・小学校英語活動の目標の立て方を説明できる。 ・指導計画の作り方のポイントを説明できる。 ・クラスルームイングリッシュを十分活用できる。 ・学習指導案を作成し、模擬授業を実施することができる。 										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）			備考						
試験											
小テスト											
レポート		40									
発表（口頭、プレゼンテーション）		45			模擬授業、コメント						
レポート外の提出物											
その他		15			予習の深さ、授業への貢献度						
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	EN31503J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習： 該当部分の予習										4	
復習： レポートの作成											

授業計画	
第1回	オリエンテーション テーマ： 児童の認知・情緒発達に即した指導法 ・児童の発達段階に即した指導の方法について理解する。
第2回	テーマ： 小学校外国語活動・外国語科の目標の立て方 ・小学校外国語活動・外国語の目標の立て方について理解する。
第3回	テーマ： 歌・チャンツを利用した音声指導 ・音声指導における歌やチャンツの役割や指導法について考える。
第4回	テーマ： いろいろな教材・教具の活用法 ・授業で利用できる教材や教具の選定や活用について考える。
第5回	テーマ： 授業における絵本の利用 ・英語授業における絵本利用の意義とその活用法について考える。
第6回	テーマ： 小学校における文字指導 ・小学校外国語科における文字指導（フォニックス）について理解する。
第7回	テーマ： 授業過程と学習指導案の作り方 ・基本的な指導過程、学習指導案について理解する。
第8回	テーマ： マルチメディア教材・ICTの活用 ・マルチメディア教材を活用することの意義や活用法について考える。
第9回	テーマ： 模擬授業1：外国語活動（3年生） ・音声中心で行う授業の展開方法を実践的に理解する。
第10回	テーマ： 模擬授業2：外国語活動（4年生） ・言語活動の意味をしっかりと押さえ、授業の展開方法を実践的に理解する。
第11回	テーマ： 模擬授業3：外国語（5年生） ・主体的・対話的学びを意識し、授業の展開方法を実践的に理解する。
第12回	テーマ： 模擬授業4：外国語（6年生） ・小中連携を視野に入れた授業の展開方法を実践的に理解する。
第13回	テーマ： 模擬授業5：文字指導 ・6年生の外国語における文字指導に焦点をあてた授業展開について実践的に理解する。
第14回	テーマ： 模擬授業6：プロジェクト型学習 ・小学校におけるプロジェクト型授業の展開方法について実践的に理解する。
第15回	テーマ： 総まとめ ・授業を改善するための授業評価・授業分析の方法についてディスカッションを通して、これまでの全学習の振り返りを行う。
テキスト	吉田研作監修 小川隆夫・東仁美著『小学校英語 はじめる教科書 改訂3版』（株）mpi 松香フォニックス 2024年

	予習・復習に使用する。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<p>「小学校学習指導要領解説外国語活動編」（平成 29 年）（文部科学省）</p> <p>「中学校学習指導要領解説外国語編」（平成 29 年）（文部科学省）</p> <p>「高等学校学習指導要領解説外国語編」（平成 30 年）（文部科学省）</p> <p>「小学校外国語活動・外国語科研修ガイドブック」（平成 28 年）（文部科学省 HP）</p> <p>「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語・外国語活動」（令和 2 年）（文部科学省 国立教育政策研究所）</p>
課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題・授業フィードバックにコメントを付けて返却する。 ・発表課題については、口頭コメントとフィードバックへの記入、クラスメートからのコメントによる学び合いを行う。
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校英語では、教師自身が自信をもって英語を使うモデルである必要があります。恥ずかしがらずに、歌ったり、英語を発信したりしてください。英会話の壁打ちは必須です。 ・「児童英語教育入門」で学修した知識や技能を想起しながらさらに発展的に各テーマについて学びましょう。 ・受講者間のディスカッションや模擬授業でのフィードバックなど、お互いに学び合いを奨励します。積極的に関わることを期待します。 ・皆さん自身も英語学習者です。この授業を通し、英語を楽しく学ぶことの効果を考えましょう。さらに教師としての視点を育み、楽しく効果的な英語授業について考えてみましょう。